



# ユーザーガイド

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。NVIDIA および G-SYNC は、NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

#### **製品についての注意事項**

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

改訂第 1 版：2019 年 4 月

初版：2018 年 8 月

製品番号：L33294-292

## このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

---

⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。

📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。

💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。

---

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
製品の特長および各部 .....	2
特長 .....	2
背面の各部 .....	4
モニターの設定 .....	5
モニターを設置するときの注意 .....	5
スタンドのヒンジブロッカーの取り外し .....	5
ケーブルの接続 .....	6
USB デバイスの接続 .....	10
モニターの調整 .....	11
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....	12
ヘッドフォンの保管 .....	12
モニター本体の取り付け .....	13
モニター スタンドの取り外し .....	13
VESA 準拠のマウントキットの取り付け .....	14
モニターの電源投入 .....	15
<b>2 モニターの使用</b> .....	<b>16</b>
G-SYNC の有効化 .....	16
モニター ドライバーのダウンロード .....	16
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) の使用 .....	16
ディスプレイ モード .....	17
ディープスリープモードの使用 .....	17
周辺光照明の使用 .....	18
ゲーム用の高速応答時間の選択 .....	18
ブルー ライトの発光の調整 .....	19
RGB ゲイン コントロールの使用 .....	19
フレーム レートの表示 .....	19
メッセージタイマー .....	20
十字型カーソル機能の使用 .....	21
マルチ モニターの配置の使用 .....	21
<b>3 サポートおよびトラブルシューティング</b> .....	<b>22</b>
一般的な問題の解決方法 .....	22
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) のロックアウト .....	23

HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	23
お問い合わせになる前に .....	23
シリアル番号と製品番号の位置 .....	24
<b>4 モニターの保守 .....</b>	<b>25</b>
保守に関するガイドライン .....	25
モニターの清掃 .....	25
モニターの運搬 .....	26
<b>付録 A 技術仕様 .....</b>	<b>27</b>
プリセットディスプレイ解像度 .....	28
ユーザー モードの使用 .....	29
<b>付録 B ユーザー サポート .....</b>	<b>30</b>
ユーザー サポート .....	30
必要なテクノロジー ツールの確認 .....	30
HP の取り組み .....	30
IAAP (International Association of Accessibility Professionals) .....	31
最適な支援技術の確認 .....	31
ご自身のニーズの評価 .....	31
HP 製品のユーザー サポート .....	31
標準および法令 .....	32
標準 .....	32
Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合同向け) .....	32
WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) .....	32
法令および規制 .....	33
United States (米国向け) .....	33
21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA) (米国向け) .....	33
Canada (カナダ向け) .....	34
Europe (欧州向け) .....	34
United Kingdom (英国向け) .....	34
Australia (オーストラリア向け) .....	34
全世界 .....	34
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク .....	35
組織 (英語のみ) .....	35
教育機関 (英語のみ) .....	35
障がいに関するその他のリソース (英語のみ) .....	35
HP のリンク .....	35
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	36

# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

外部電源アダプターおよび電源コードがモニターに付属している場合があります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な外部電源コードについては、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、踏んだり、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザーガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📄 重要：**モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのモニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

**⚠ 警告！** 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にモニターを不用意に置いた場合、モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。


**📄 注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

# 製品の特長および各部

## 特長

この製品は NVIDIA® G-SYNC に対応したモニターです。スムーズで没入感のあるゲーム体験を提供します。NVIDIA G-SYNC を使用するには、モニターに接続されている外部ソースに NVIDIA G-SYNC 10 シリーズ以上のグラフィックスカードが装着されている必要があります。最適なゲームプレイを実現するために、サポートされている最新のグラフィックスドライバーもインストールすることをおすすめします。

NVIDIA G-SYNC テクノロジーは、ゲームプレイでストレスの原因になるスタッタリングやティアリングを軽減するために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートと同期します。G-SYNC 対応モニターとの互換性については、お使いのグラフィックスカードの製造元に問い合わせてください。詳しくは、[16 ページの G-SYNC の有効化](#)を参照してください。

 **注記：** NVIDIA G-SYNC を使用するには、モニターとシステムを DisplayPort ケーブルで接続する必要があります。詳しくは、[16 ページの G-SYNC の有効化](#)を参照してください。

 **注記：** 適切なリフレッシュレートは、モニターによって異なります。詳しくは、<http://www.geforce.com/hardware/technology/g-sync/> を参照してください。


このモニターの特長は以下のとおりです。

- 1920 × 1080 FHD 以下の解像度をサポートする、24.5 インチ（対角長 62.2 cm）の表示領域
- 傾斜角度および高さ調整機能
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）ビデオ入力
- DisplayPort ビデオ入力
- すべての入力で使用される HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）
- USB ハブ（アップストリームポート × 1、ダウンストリームポート × 2）
- オーディオ出力（ヘッドセット）コネクタ
- DisplayPort および USB Type-B-USB Type-A の各ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（10 言語に対応）
- モニター画面に表示されるフレームレート（fps）インジケータ（OSD メニューで調節可能）
- モニター画面に表示されるメッセージタイマー（OSD メニューで調節可能）
- モニター画面に表示されるゲーム用十字型カーソル（OSD メニューで調節可能）
- 別売のセキュリティロックケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- フルレンジ LED を使用した設定可能な周辺光照明
- 便利なヘッドフォン保管フックをモニタースタンドに装備
- 高いリフレッシュレートの NVIDIA G-SYNC™テクノロジーが PC ゲームで効果を発揮。短い応答時間とよりリアルなゲーム体験を実現



- GeForce GTX 搭載のデスクトップまたはノートブックの GPU にモニターのリフレッシュレートを同期することで表示が滑らかになり、スタッタリングやティアリングを軽減し、表示遅延も最小限に抑えます。
- 表示遅延の少ない、非常にスムーズなゲームプレイが体験できます。
- NVIDIA の ULMB (Ultra Low Motion Blur) モードが追加。画面上をすばやく動くオブジェクトのぶれを軽減し、ゴーストを最小限に抑えます。ULMB モードでは、動いているオブジェクトが通常モードよりシャープに見えます。ULMB モードは DisplayPort 入力でのみ利用できます。
- モニターを壁面取り付け器具またはスイングアームに取り付けるための VESA 準拠の取り付け機能

---

 **注記:** 安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』(製品についての注意事項)を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。[ユーザーガイド]を選択します。

---

## 背面の各部



表 1-1 背面の各部とその説明

名称	機能
(1) 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます
(2) オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティック	OSD メニューを開いたり、メニューの項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりします
(3) セキュリティロックケーブル用スロット	別売のセキュリティロックケーブルをモニターに接続します
(4) オーディオ出力コネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビオーディオケーブルなどを接続します  <b>警告！</b> 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、入力デバイスの音量を調節してからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください
(5) USB ポート (ダウンストリーム) (×2)	キーボード、マウス、USB ハードディスクドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続します
(6) USB Type-B ポート (アップストリーム)	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに USB ハブケーブルを接続します
(7) 電源コネクタ	外部電源アダプターを接続します
(8) サービスポート	認定された HP のサポート担当者のみが使用します
(9) DisplayPort	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに DisplayPort ケーブルを接続します
(10) HDMI 入力端子	コンピューターや据え置き型ゲーム専用機などの入力デバイスに HDMI ケーブルを接続します

# モニターの設置

## モニターを設置するときの注意

⚠ **警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📌 **重要：** モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

**重要：** 画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止するために、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。

## スタンドのヒンジブロッカーの取り外し

モニターは、ヒンジブロッカーによってモニター本体がスタンドの最も低い位置に固定された状態で出荷されます。モニター本体の高さを調節するには、ヒンジブロッカーを取り外す必要があります。

ヒンジブロッカーを取り外すには、モニター本体をゆっくりと押し下げ (1)、ヒンジブロッカーをスタンドから引き抜きます (2)。




## ケーブルの接続


 **注記**：モニターには、DisplayPort ビデオ ケーブルが付属しています。

1. モニターを、コンピューターまたは入力デバイスの近くの、作業がしやすく通気の良い安定した場所に置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをモニター背面のケーブル管理ガイドに通しておきます。



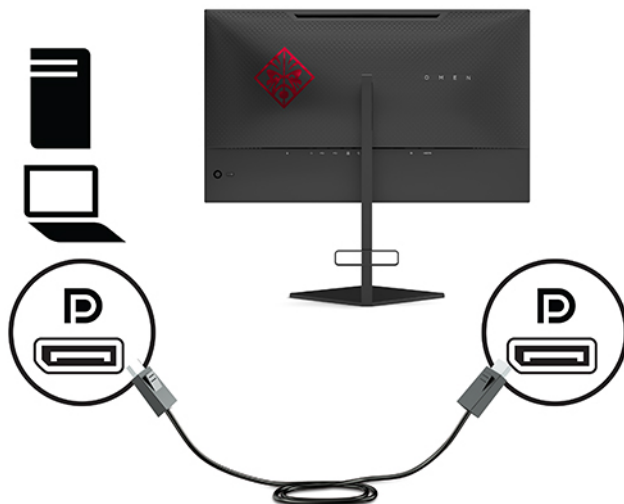
### 3. ビデオケーブルを接続します。

 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

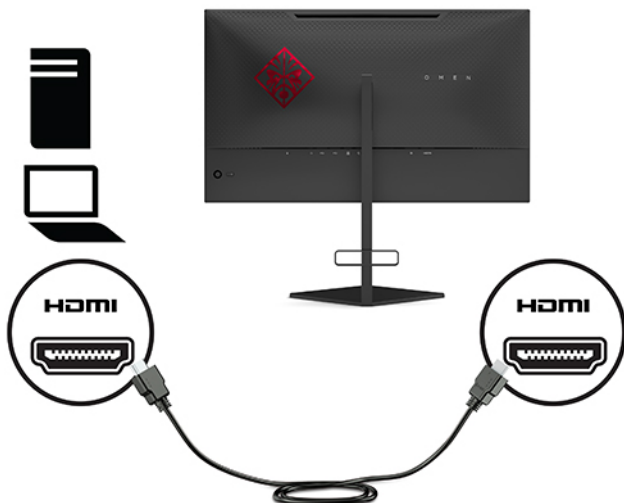
 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、オンスクリーンディスプレイ（OSD）ジョイスティックの中心を押して、**[入力]**を選択します。

 **注記**：DisplayPort は、最適なパフォーマンスを実現するための推奨される接続の種類です。

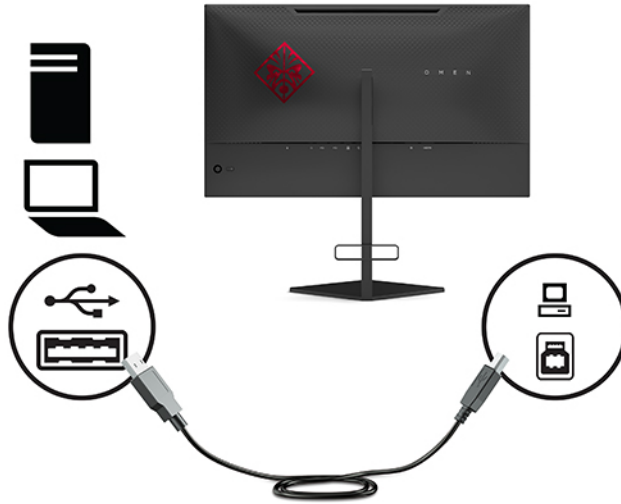
- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。



4. USB アップストリーム ケーブルの Type-B コネクタをモニターの背面の USB Type-B アップストリーム ポートに接続してから、ケーブルの Type-A コネクタを入力デバイスの USB Type-A ダウンストリーム ポートに接続します。



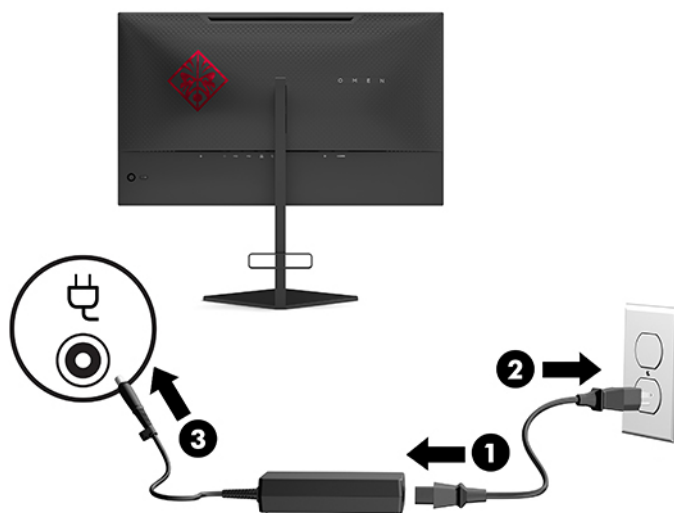
**注記**：モニターの USB Type-A ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-B アップストリーム ケーブルを入力デバイス（コンピューター、ノートブックコンピューター、据え置き型ゲーム専用機）からモニターの背面に接続する必要があります。詳しくは、[10 ページの USB デバイスの接続](#)を参照してください。

5. 外部電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、外部電源アダプターをモニターの電源コネクタに接続します (3)。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。


- 必ず外部電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 外部電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コンセントから外部電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。外部電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。外部電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。



## USB デバイスの接続

モニターの背面には 1 つの USB Type-B アップストリーム ポートおよび 2 つの USB Type-A ダウンストリーム ポートが装備されています。

 **注記**：モニターの USB Type-A ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-B アップストリーム ケーブルを入力デバイスからモニターに接続する必要があります。

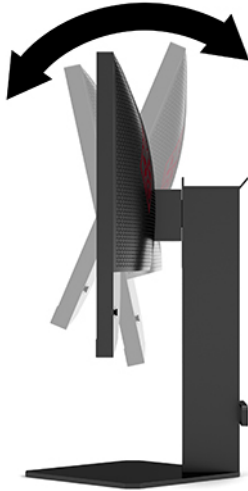




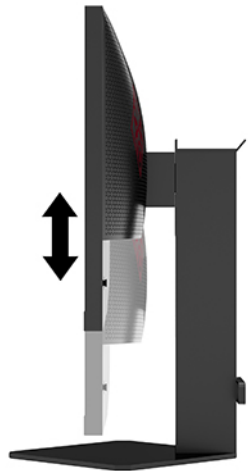
## モニターの調整

⚠ **警告!** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

1. モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。



## セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。ロックの取り付けおよび取り外しには、付属の鍵を使用します。



## ヘッドフォンの保管

モニターのスタンドの上部には、ヘッドフォンを保管するための便利なヘッドフォンフックが付いています。



## モニター本体の取り付け

モニター本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

**重要：**このモニターは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジを使用すると、モニターが損傷する可能性があります。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していることおよびモニターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

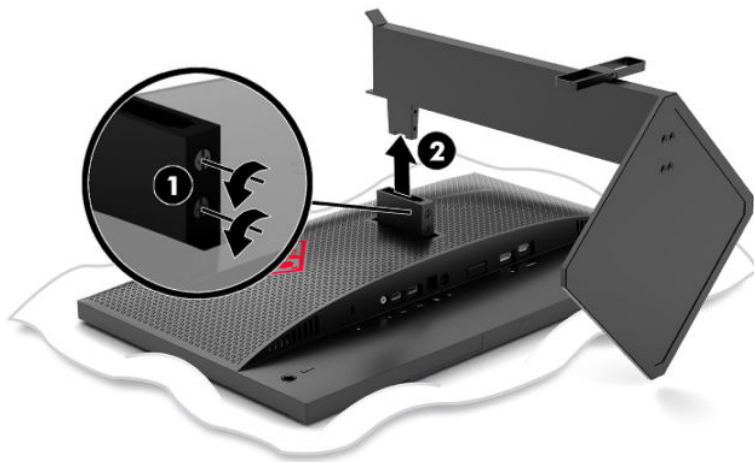
**注記：**この装置は、UL または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

## モニター スタンドの取り外し

モニター本体からスタンドを取り外して、モニター本体を壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

**重要：**モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、およびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

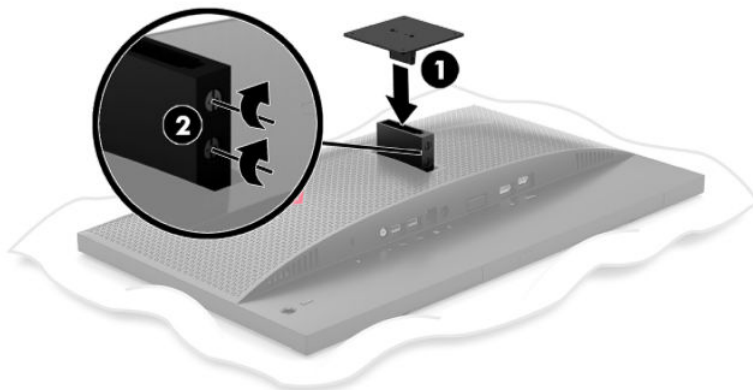
1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニター本体の前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. スタンドのヒンジの下側にある 2 本のネジを取り外し (1)、スタンドをスライドさせてモニター本体から取り外します (2)。



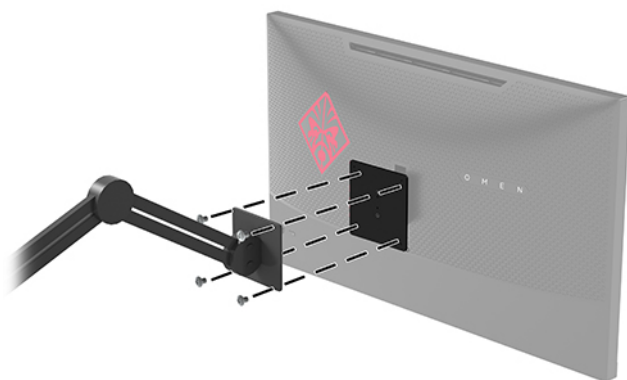
## VESA 準拠のマウントキットの取り付け


VESA 準拠のマウントキットがモニターに付属しており、モニター本体を壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けるときに使用できます。

1. モニター スタンドを取り外します。 [13 ページのモニター スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. VESA 準拠のマウントキットをモニター本体のヒンジの背面にあるスロットに差し込み (1)、2本のネジを取り付けて (2) マウントキットを固定します。



3. モニター本体をスイングアームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、VESA 準拠のマウントキットのネジ穴に差し込みます。



 **重要:** モニターを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。

## モニターの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. モニター背面の電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。



**重要：** モニターを使用しない状態が 12 時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

**注記：** 電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。OSD ジョイスティックの中心を押して、**電源**を選択します。**電源ランプ**→**オフ**の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターのステータスに関するメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、入力自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、初期設定はオン)、現在検出されているディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号を自動的にスキャンして前回のアクティブな入力を検出します。信号なしの状態の場合は最初に検出したアクティブな入力モニターに使用されます。

## 2 モニターの使用

### G-SYNC の有効化

NVIDIA コントロールパネルソフトウェアは、<http://www.geforce.com/drivers/>（英語サイト）からダウンロードしてインストールする必要があります。NVIDIA G-SYNC を使用するには、G-SYNC に対応しているグラフィックスカードが装着されており、DisplayPort 経由でシステムに接続している必要があります。対応しているカードの一覧は、<http://www.geforce.com/hardware/technology/g-sync/supported-gpus/>（英語サイト）を参照してください。

モニターで G-SYNC を有効にするには、以下の操作を行います。

1. Windows® のデスクトップを右クリックして、**[NVIDIA Control Panel]**（NVIDIA コントロールパネル）を選択します。
2. 左側のリンクから**[Display]**（ディスプレイ）を選択し、**[Set up G-SYNC]**（G-SYNC のセットアップ）を選択します。
3. **[Enable G-SYNC]**（G-SYNC を有効にする）ボックスにチェックを入れます。

### モニター ドライバーのダウンロード

モニターの INF（情報）ドライバー ファイルを HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードしてインストールできます。

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. **[ソフトウェアとドライバー]**または**[ソフトウェア/ドライバー]**を選択します。
3. 製品の種類を選択します。
4. お使いの HP モニターのモデルを検索フィールドに入力し、画面の説明に沿って操作します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### オンスクリーンディスプレイ（OSD）の使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのリアパネルにある OSD ジョイスティックを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、OSD ジョイスティックの中心を押します。
3. ジョイスティックを上下左右に動かすと、メニュー項目間を移動できます。ジョイスティックの中心を押すと、選択できます。

以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

**表 2-1 OSD メイン メニューのオプションとその説明**

メインメニュー	説明
Gaming (ゲーム)	応答時間、ULMB、フレームレート、メッセージタイマー、十字型カーソル、周辺光照明、マルチ モニターの配置などのゲームの設定を選択および調整します
イメージ	輝度、自動コントラスト調整、濃色ブースト、ガンマ、イメージのスケーリングなどの画面表示を調整します
色	さまざまな表示状況に応じてモニターを設定する各種のカラー プリセットを提供します
入力	ビデオ入力信号 (DisplayPort または HDMI) を選択します
電源	電源設定を調整します
メニュー	OSD メニュー コントロールを調整します
マネージメント	すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
情報	モニターに関する重要な情報を表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

## ディスプレイモード

モニターのディスプレイモードは、モニターの電源が入ったときとビデオ入力に変更されたときに表示されるモニター ステータス メッセージで報告されます。現在のディスプレイモードは、**【情報】**メニュー ウィンドウ、およびオンスクリーンディスプレイ (OSD) メイン メニューの下のステータスバー領域に表示されます。動作モードは、**【標準】**および**【G-SYNC】**です。

 **注記** : G-SYNC モードを有効にするには、NVIDIA グラフィックスカードのコントロールパネルで G-SYNC がオンになっている必要があります。

## ディープスリープモードの使用

このモニターでは、ディープスリープモードと呼ばれる省電力状態のモードが初期設定で有効になっています。ホスト PC から低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは 13 分後にこのモードになります。

ディープスリープモードになると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯し、モニターの消費電力は 0.5 W 未満になります。

ホスト コンピューターからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはディープスリープモードから復帰します。オンスクリーンディスプレイ (OSD) でディープスリープを無効にするには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**【電源】**を選択します。
3. **【DP ディープスリープ】**または**【HDMI ディープスリープ】**を選択して、**【オフ】**を選択します。

## 周辺光照明の使用

このモニターには、デスクトップまたは壁を照らしてゲーム体験を向上させる周辺光照明が装備されています。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューまたは[OMEN Command Center]で、周辺光照明の色や明るさを調整したり、周辺光照明を切ったりできます。

周辺光照明を調整するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[ゲーム]**→**[周辺光照明]**の順に選択します。
3. 設定を選択します。
  - **[オフ]**: 周辺光照明を切ります。
  - **[タスク ライト]**: 読書や視聴がしやすくなるように調整可能な白色のデスク ライトをエミュレートします。
  - **[画面のグロー]**: バックライト色を、ゲームおよびビデオの画面平均色に合わせます。
  - **[シングル カラー]**: 周辺光の色を赤、緑、青、黄、紫、シアン、オレンジ、またはカスタムに設定します。
  - **[ランダム カラー]**: シングルカラーをランダムに循環させて周辺光の色を変えます。
  - **[ランプの明るさ]**: 周辺光照明の明るさを調節します。

 **注記**: 周辺光照明は初期設定でオン (Omen Red (Omen レッド)) に設定されています。




## ゲーム用の高速応答時間の選択

応答時間を高速に設定するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を押して OSD メニューを開きます。
2. **[ゲーム]**→**[応答時間]**の順に選択します。
3. 調整レベルを切り替えて、応答時間を長くしたり短くしたりします。



 **注記:** 応答時間の初期設定は G-SYNC を使用したゲームのプレイに合わせて最適化されています。すべての動作仕様は、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

## ブルーライトの発光の調整

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。HP モニターにはブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを見るときに刺激を低減するための設定が用意されています。

見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. **[色]** を選択します。
3. 目の快適性を高めるには、**[低ブルーライト]** (TUV 認定済み) を選択します。

## RGB ゲインコントロールの使用

RGB ゲインコントロールを使用すると、任意のカラープリセットの色温度を手動で調整して、すべてのカラープリセットを調整可能なユーザーモードにできます。調整はカラープリセットごとに別々に保存されます。

色温度を調整するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. **[色]** を選択します。
3. **[RGB ゲインコントロール]** を選択します。
4. **[Red Color ADJ SCALE GRAPHIC]** (赤色スケール調整グラフィックス)、**[Green Color ADJ SCALE GRAPHIC]** (緑色スケール調整グラフィックス)、または **[Blue Color ADJ SCALE GRAPHIC]** (青色スケール調整グラフィックス) を選択します。


 **注記:** メニューを終了すると、RGB カラー設定が自動的に保存されます。

## フレームレートの表示

フレームレート機能をオンにすると、1 秒あたりの現在アクティブな入力フレーム数 (fps) を表示できます。fps は、画面上の 1 つのセクションに表示されます。**[色]** および **[位置]** のサブメニューでは、fps テキストの色および画面上の位置を選択できます。

fps を画面に表示するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. **[ゲーム]** を選択します。
3. **[Frame Rate]** (フレームレート) → **[オン]** の順に選択します。
4. 画面に表示される fps の色および位置を設定します。

 **注記:** OSD のフレームレートおよびメッセージタイマーの機能は、同じ色および位置の設定を共有します。

## メッセージタイマー

[Message Timer] (メッセージタイマー) メニューには、プリセットのリマインダー/情報メッセージを表示する2種類のタイマーがあります。タイマーのメニューには、[オン]/[オフ]オプションと、[開始]、[停止]、および[リセット]の各コントロールがあります。[オン]を選択すると、現在選択されている画面上の位置に現在選択されているタイマーの値が表示されます。初期設定は右上隅です。

画面上のタイマーの形式は最初、分および秒 (0:00) で表示されますが、時間の経過とともに時間も表示されます。メッセージタイマーには2つの異なるオプションがありますが、一度に選択できるタイマーは1つ (スピードランまたはカウントダウン) のみです。どちらのタイマーのオプションにも、タイマーの数字の色とタイマーの画面上の位置が含まれています。

メッセージタイマーを使用するには、以下の操作を行います。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[ゲーム]**を選択します。
3. 以下で説明するオプションを使用してタイマーを選択および調整します。
  - **[スピードランタイマー]**: これは分および秒 (0:00) を示すプログレスタイマーです。0 から始まり、24 時間になるまで進み続けます。タイマーが 24 時間の制限時間に達すると、タイマーの期限が切れたことを知らせるメッセージが 20 秒間表示されます。このタイマーにより、ゲームや特定のタスクの実行に費やした時間を追跡できます。
  - **[カウントダウンタイマー]**: 調整バーを使用すると、開始時間を 1~5 分 (1 分単位) の間で選択し、次に 5~120 分 (5 分単位) の間で選択できます。タイマーが 0:00 までカウントダウンした後、画面の中央にメッセージが 20 秒間表示されます。[メッセージ]サブメニューでは、画面に表示される正確なメッセージを選択できます。カウントダウンタイマーの初期設定値は 20 分です。
  - **[開始]**: 選択されたタイマーを開始します。
  - **[停止]**: タイマーを一時停止または停止しますが、タイマーのリセットは行いません。[開始]オプションを再度選択すると、タイマーカウンターが続行されます。
  - **[リセット]**: タイマーカウンターを選択された開始値にリセットします。
  - **[メッセージ]**: 選択されたタイマーの期限が切れたときに画面上に表示されるメッセージを選択できます。以下のメッセージを選択できます。
    - ゲームタイマーが時間切れになりました!
    - ゲームのプレイを停止してください!
    - 休憩してください!
    - コンピューターをシャットダウンしてください!

メッセージタイマーをホットキーとして設定するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[メニュー]**を選択します。
3. ホットキーに使用するボタンに対して**[Message Timer]**を選択します。
4. そのホットキーを使用すると、開始、停止、および再開の順に繰り返し実行できます。

メッセージタイマーのホットキーを使用する場合は、以下の条件が適用されます。

- 十字型カーソル オプションがアクティブな場合、メッセージタイマーのホットキーを押すと、選択されたメッセージタイマーがオンになり、十字型カーソルはオフになります。
- fps オプションがアクティブな場合、メッセージタイマーのホットキーを押すと、選択されたメッセージタイマーがオンになり、fps はオフになります。
- メッセージタイマーがアクティブな場合で、fps または十字型カーソルのどちらかがアクティブ化された場合、メッセージタイマーは非表示になりますが、バックグラウンドで引き続き実行されます。

## 十字型カーソル機能の使用

[Crosshair] (十字型カーソル) メニューでは、以下に示すサブメニューから、モニターで制御されているオンスクリーンディスプレイ (OSD) ポインターの各種特性をカスタマイズできます。[Crosshair] オプションを使用するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[ゲーム]**を選択します。
3. **[Crosshair]**→**[オン]**の順に選択します。
4. 以下に示すサブメニューを使用して十字型カーソルを設定します。
  - **[構成]**: 画面上の十字型カーソル/ポインターを構成する個々のグラフィックスパーツを選択するには、表示するオプションの横にあるチェックボックスにチェックを入れます。複数のオプションを組み合わせて、独自にカスタマイズした十字型カーソルを作成できます。OSD の [Crosshair] メニューの下にプレビューウィンドウが表示されます。
  - **[色]**: 画面上の十字型カーソルの色を選択できます。
  - **[位置]**: 画面上の十字型カーソルの位置を選択できます。

## マルチ モニターの配置の使用

オンスクリーンディスプレイ (OSD) の [マルチ モニターの配置] オプションでは、複数のモニターを並べてセットアップする場合に役立つ全画面の配置パターンが表示されます。このオプションを選択すると、OSD が終了して、配置パターンが全画面で表示されます。

マルチ モニターの配置を使用するには、以下の操作を行います。

1. OSD ジョイスティックの中心を押して OSD を開きます。
2. OSD で、**[ゲーム]**を選択します。
3. **[マルチ モニターの配置]**→**[オン]**の順に選択します。
4. ジョイスティックの中心を押すと、パターンを終了できます。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的な問題の解決方法

以下の表に、発生する可能性のある問題、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 3-1 一般的な問題および解決方法

問題	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	外部電源コードが外れている	外部電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	モニターの電源ボタンを押します
	ビデオケーブルが接続されて いない	ビデオケーブルを入力デバイスおよびモニターに 接続します。ビデオケーブルを接続するときにコ ンピューターの電源がオフになっていることを確 認してください詳しくは、 <a href="#">6 ページのケーブルの接 続</a> を参照してください
	システムがディープスリープ モードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動か して、ディープスリープモードを終了します
	ビデオカードに互換性がない	ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭 載されているビデオソースにビデオケーブルを接 続します  互換性のある NVIDIA G-SYNC ビデオカードの一覧 は、 <a href="http://www.geforce.com/hardware/technology/g-sync/supported-gpus/">http://www.geforce.com/hardware/technology/g- sync/supported-gpus/</a> (英語サイト) を参照して ください
複数のビデオケーブルを接続 している	使用しないビデオケーブルを取り外します	
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開 きます。【イメージ】→【輝度】の順に選択し、必要に 応じて輝度スケールを調整します
動いている画像がぼや けて見える	NVIDIA の ULMB (Ultra Low Motion Blur) がオンになってい ない	ULMB をオンにするには、Windows デスクトップの NVIDIA コントロールパネルで NVIDIA G-SYNC を無 効にする必要があります。次に、OSD を開いて 【ゲーム】を選択します。【ULMB】→【オン】の順に選択 します
[Input Signal Not Found] というメッセージが画 面に表示される	ビデオケーブルが外れている	ビデオケーブルを入力デバイスおよびモニターに 接続します。ビデオケーブルを接続するときにコ ンピューターの電源がオフになっていることを確 認してください詳しくは、 <a href="#">6 ページのケーブルの接 続</a> を参照してください
[Input Signal Out of Range]というメッセー ジが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニターがサポート するレベルを超えるレベルに 設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳 しくは <a href="#">28 ページのプリセットディスプレイ解像 度</a> を参照してください

表 3-1 一般的な問題および解決方法 (続き)

問題	考えられる原因	解決方法
モニターが省電力スリープモードに移行していない	モニターのディープスリープモードが無効になっている	OSD メニューを開いて、 <b>【電源】</b> を選択します。次に、 <b>【DP ディープスリープ】</b> または <b>【HDMI ディープスリープ】</b> を選択します。次に、 <b>【オン】</b> を選択します
[On-screen Menus are Locked]というメッセージが画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	モニターの電源が入っているときにジョイスティックの中心のボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD のロックアウトのオン/オフを切り替えます

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) のロックアウト

オンスクリーンディスプレイ (OSD) ジョイスティックの中心を 10 秒程度押し続けると、OSD の機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、OSD が閉じている場合にのみ使用できます。

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

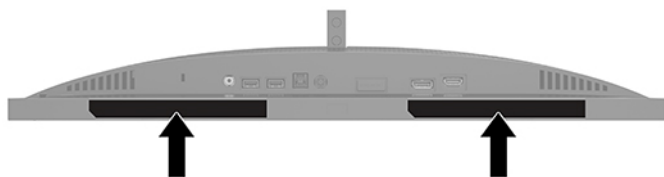
## お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口もご利用いただけます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

## シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。




## 4 モニターの保守

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター背面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- 使用していないときにはモニターの電源を切るようにして、スクリーンセーバープログラムを使用してください。これにより、モニターの寿命が大幅に伸びる場合があります。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部をふさいだり、その中に異物を押し込んだりしないでください。これらの開口部によって通気が確保されます。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 外部電源コードの上に物を置いたり、外部電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。

### モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから外部電源コードを抜き取ります。
2. すべての外付けデバイスを取り外します。
3. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
4. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。

 **重要：** ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。


**重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。通気孔またはその他の開口部に水が入ると、モニターの損傷の原因になる可能性があります。モニターは、使用する前に自然乾燥させます。

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。



# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

**表 A-1 技術仕様**

仕様	測定値
ディスプレイ、ワイドスクリーン パネルの種類	24.5 インチ (62.2 cm) TN LCD
表示可能画像サイズ	62.2 cm / 24.5 インチ (対角方向)
傾斜角度	-5 ~ 23°
高さ調節	0 ~ 130 mm
質量 (スタンドを含む)	5.5 kg
寸法 (スタンドを含む)	
高さ	49.0 cm
奥行き	27.3 cm
幅	55.8 cm
最大グラフィックス解像度	1920 × 1080 (240 Hz) (DisplayPort のみ)
最適グラフィックス解像度	1920 × 1080 (60 Hz)
静的コントラスト比	1000:1 (通常)
ドットピッチ	0.283 (水平) × 0.280 (垂直) mm
ピクセル密度 (Pixels Per Inch)	89.7 PPI
水平走査速度	DP : 30 ~ 279 kHz HDMI : 30 ~ 90 kHz
垂直走査速度	DP : 48 ~ 240 Hz HDMI : 48 ~ 60 Hz
応答時間	モニターの応答時間は 3 ミリ秒に初期設定されています。ディスプレイメニューで応答時間を 1 ミリ秒まで速く設定できます。すべての動作仕様は、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。
環境条件	
動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-34 ~ 60°C

**表 A-1 技術仕様 (続き)**

仕様	測定値
相対湿度	20 ~ 80%
動作保証高度	
動作時	<b>0 ~ 5,000 m</b>
非動作時	<b>0 ~ 12,192 m</b>
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	65 W
通常設定	35 W
スリープ時	0.5 W 以下
電源切断時	0.5 W 以下
電源アダプター	65 W
入力端子	HDMI 入力端子 × 1、DisplayPort × 1

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

**表 A-2 プリセットディスプレイ解像度**

プリセットディスプレイ解像度
640 × 480 (60 Hz)
720 × 480 (60 Hz) (HDMI のみ)
720 × 576 (60 Hz) (HDMI のみ)
800 × 600 (60 Hz)
1024 × 768 (60 Hz)
1280 × 720 (50 Hz) (HDMI のみ)
1280 × 720 (60 Hz) (HDMI のみ)
1920 × 1080 (50 Hz) (HDMI のみ)
1920 × 1080 (60 Hz)
1920 × 1080 (100 Hz) (DisplayPort のみ)
1920 × 1080 (120 Hz) (DisplayPort のみ)
1920 × 1080 (144 Hz) (DisplayPort のみ)
1920 × 1080 (200 Hz) (DisplayPort のみ)
1920 × 1080 (240 Hz) (DisplayPort のみ)

## ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、7以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

## B ユーザーサポート

### ユーザーサポート

HP では、ダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを自社の構造に組み込もうと日々努力しており、あらゆる業務にそれが反映されています。ここでは、世界中で人と技術力を結び付けることを重視したすべての人が活躍できる環境をつくるために、HP がどのように働き方に変化をもたらしているかについていくつかの例を挙げて説明します。

#### 必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。詳しくは、[31 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

#### HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、HP の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザーサポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザーサポートポリシーでは、HP の企業としての取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内でユーザーサポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザーサポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザーサポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザーサポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術の向上につながる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザーサポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

## IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリア アップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

HP は設立メンバーであり、他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、私たちの業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/> (英語サイト) にアクセスして、オンライン コミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

## 最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

## ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

## HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)
- [HP パソコン - Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット - HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC - ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)

- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[36 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft® のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

## 標準および法令

### 標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

### Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合同向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

### WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザーサポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方でも利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能** (画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど)
- **操作可能** (キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能)

- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）

## 法令および規制

IT および情報のユーザーサポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。このセクションの各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

### United States（米国向け）

Section 508 of the Rehabilitation Act specifies that agencies must identify which standards apply to the procurement of ICT, perform market research to determine the availability of accessible products and services, and document the results of their market research. The following resources provide assistance in meeting Section 508 requirements:

- [www.section508.gov](http://www.section508.gov)
- [Buy Accessible](#)

The U.S. Access Board is currently updating the Section 508 standards. This effort will address new technologies and other areas where the standards need to be modified. For more information, go to [Section 508 Refresh](#).

Section 255 of the Telecommunications Act requires telecommunications products and services to be accessible to people with disabilities. FCC rules cover all hardware and software telephone network equipment and telecommunications equipment used in the home or office. Such equipment includes telephones, wireless handsets, fax machines, answering machines, and pagers. FCC rules also cover basic and special telecommunications services, including regular telephone calls, call waiting, speed dialing, call forwarding, computer-provided directory assistance, call monitoring, caller identification, call tracing, and repeat dialing, as well as voice mail and interactive voice response systems that provide callers with menus of choices. For more information, go to [Federal Communication Commission Section 255 information](#).

### 21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA)（米国向け）

The CVAA updates federal communications law to increase the access of persons with disabilities to modern communications, updating accessibility laws enacted in the 1980s and 1990s to include new digital, broadband, and mobile innovations. Regulations are enforced by the FCC and documented as 47 CFR Part 14 and Part 79.

- [FCC Guide on the CVAA](#)

Other U.S. legislation and initiatives

- [Americans with Disabilities Act \(ADA\), Telecommunications Act, the Rehabilitation Act and others](#)

## Canada (カナダ向け)

The Accessibility for Ontarians with Disabilities Act was established to develop and implement accessibility standards to make goods, services, and facilities accessible to Ontarians with disabilities and to provide for the involvement of persons with disabilities in the development of the accessibility standards. The first standard of the AODA is the customer service standard; however, standards for transportation, employment, and information and communication are also being developed. The AODA applies to the Government of Ontario, the Legislative Assembly, every designated public sector organization, and to every other person or organization that provides goods, services, or facilities to the public or other third parties and that has at least one employee in Ontario; and accessibility measures must be implemented on or before January 1, 2025. For more information, go to [Accessibility for Ontarians with Disability Act \(AODA\)](#).

## Europe (欧州向け)

EU Mandate 376 ETSI Technical Report ETSI DTR 102 612: "Human Factors (HF); European accessibility requirements for public procurement of products and services in the ICT domain (European Commission Mandate M 376, Phase 1)" has been released.

Background: The three European Standardization Organizations have set up two parallel project teams to carry out the work specified in the European Commission "Mandate 376 to CEN, CENELEC and ETSI, in Support of Accessibility Requirements for Public Procurement of Products and Services in the ICT Domain."

ETSI TC Human Factors Specialist Task Force 333 has developed ETSI DTR 102 612. Further details about the work performed by STF333 (e.g., Terms of Reference, specification of the detailed work tasks, time plan for the work, previous drafts, listing of comments received and means to contact the task force) can be found at the [Special Task Force 333](#).

The parts relating to the assessment of suitable testing and conformity schemes were carried out by a parallel project, detailed in CEN BT/WG185/PT. For further information, go to the CEN project team website. The two projects are closely coordinated.

- [CEN project team](#)
- [European Commission mandate for e-accessibility \(PDF 46KB\)](#)

## United Kingdom (英国向け)

The Disability Discrimination Act of 1995 (DDA) was enacted to ensure that websites are accessible to blind and disabled users in the United Kingdom.

- [W3C UK Policies](#)

## Australia (オーストラリア向け)

The Australian government has announced their plan to implement [Web Content Accessibility Guidelines 2.0](#).

All Australian government websites will require Level A compliance by 2012, and Double A by 2015. The new standard replaces WCAG 1.0, which was introduced as a mandated requirement for agencies in 2000.


## 全世界

- [JTC1 SWG-A \(Special Working Group on Accessibility\) \(英語サイト\)](#)
- [G3ict: The Global Initiative for Inclusive ICTs \(英語サイト\)](#)
- [イタリアのユーザー サポート法令 \(イタリア語サイト\)](#)
- [W3C WAI \(Web Accessibility Initiative\) \(英語サイト\)](#)



## ユーザーサポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記**：この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

### 組織（英語のみ）

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA（Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America）
- TDI（Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.）
- W3C WAI（Web Accessibility Initiative）

### 教育機関（英語のみ）

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

### 障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

- ADA（Americans with Disabilities Act）Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum（欧州障害フォーラム）
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable
- 米国司法省：A Guide to Disability Rights Laws

### HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html)（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。